

改善計画書

施策番号	担当部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)	
34130	企画部	企画政策課	課長	淡野 浩	769-8203	
施策名	高次都市機能の集積					
施策の目的	企業本社等の中核業務機能など、都市機能を集積することにより、相模原市が、広域的な都市圏における核を担う都市となることを目的とする。					
これまでの取組	相模大野駅周辺及び小田急相模原駅周辺において、市街地再開発事業が進んでいる。地域住民がまちづくりを考える際に専門知識を有するアドバイザーを派遣している。					
評価結果 (平成17年度 実績評価)	1次評価	C	2次評価	C	3次評価	C
	3次評価での指摘事項等及び意見 (は行政評価検討委員会としての指摘事項・改善要望項目、 は各委員の意見)					
	<p>施策目的を達成するために事業を具体化し、その成果の達成状況を測定できる指標を設定すること。 事業を具体化するにあたっては、評価担当課を含め再掲事業のみである施策自体の見直しを行うこと。</p> <p>市民にわかりやすい指標の設定も必要ではないか。 評価担当課が企画政策課でいいのか、再度検討すべきではないか。 企画政策課の指標としては、事業実施につながった企画の本数などがあるのではないか。 今後は、ハードではなく、ソフトの充実を図るべきである。都市間競争で近隣市に打ち勝つようなソフトを企画し、推進すべきと考える。</p>					
3次評価の指摘事項を踏まえた課題整理	<p>高次都市機能とは何かという明確な定義が存在しないことによる成果測定の曖昧さの解消。 本市が広域的な都市圏における核となっている度合いを測る適切な指標の設定。 他の施策の達成に向けた事業のみで本施策の事業が構成されているという構造的問題の解決。</p>					

改善計画	改善目標及び改善時期	新しい総合計画を検討する上で、施策自体の見直しを検討する。		
	具体的な改善方策	節に対する目標・手段の関係、事務事業に対する目標・手段の関係を検証する。		
	改善項目 [施策の見直し]	実施の時期	平成20年度末までに	
		新しい総合計画においては、施策の見直しを行い、節レベルでの本施策の位置付けについて検討行う。その上で、必要があれば指標の検討を行う。		
	改善項目 「 」	実施の時期	平成19年度末までに	
改善項目 「 」	実施の時期	平成19年度末までに		
改善結果	改善目標の達成状況			
	評価及び今後の取組方針等			